



歴史資料館特別展

# 宇治の仏像

## 一美と心、現在に

### 仏像・神像・狛犬など29点を展示

歴史資料館では、昭和六十二年度特別展を十月十一日から十二月十三日まで開きます。特別展は、「宇治の仏像―美と心、現在（いま）に―」と題して、平安時代の仏像を中心に、市内の寺社から仏像・神像・狛犬（こゝまいぬ）などを展示。重要文化財や新発見も加え、一般には初公開の仏像展です。また、記念講演会や縁起類などの参考展示も併せて行います。深まる秋の一日、ご家族でぜひ、ご来場ください。

期 間 10月11日（日）～12月13日（日）

（月曜日・祝日は休館）

開館時間 午前9時～午後5時

会 場 歴史資料館（文化センター内）

（折居台1丁目 ☎01311）

入 場 料 大 人 200円（150円）

小・中学生 60円（40円）

（ ）内は団体割引20人以上

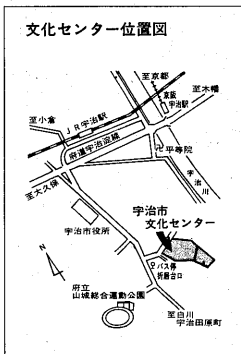


狛 犬（宇治神社、鎌倉時代）

向形（獅子）と角を持つ形（狛犬）で、1対として造立されたものであるが、彫技においては力量の上でかなりの隔たりが認められる。阿形像の緊張感のある姿勢、たてがみの先端部の微妙なそよぎ、力のみなぎる前足、写実を基調としながらも格調高い顔付き表現などは注目すべき。



▲毘沙門天立像（西澤寺、平安時代後期）



文化センター位置図

開館二年を経た歴史資料館では、市内の寺院に安置されている平安時代の仏像を中心に、特別展「宇治の仏像 美と心、現在（いま）に」を開催します。市内には、国宝や重要文化財など数々の歴史的遺産があります。近年、発掘調査によって埋文化財への関心も高まっています。仏教芸術、なかでも彫刻の分野においては、本市は全国的にも注目されています。その代は、定朝作の平等院鳳凰（ほうおう）堂の阿弥陀如来で、和様彫刻の完成品として尊ばれ、仏の本様とまでうたわれました。その優美で穏やかな姿は、平安時代の王朝様式だけでなく、時代を越え人々の心を捉えて来たのです。

#### 特別展記念講演会を開催

特別展を記念して、次のとおり講演会を開きます。多数ご来場ください。  
▼日時：11月15日（日）午後2時開演  
▼会場：文化会館ホール  
▼テーマ：講師「和様と唐様―宇治の美術をめぐって」  
▼入場料：無料  
▼問い合わせ：歴史資料館

▼神像（許波多神社、平安時代後期）



帝釈天立像（浄土院 平安時代後期）  
左手のひらに宝珠を乗せる天形立像で、寺伝では帝釈天像とされている。着衣にはやや重い感じがあるが、程よい量感のなかで少年の清純な顔のありさま、淡く柔かな衣文表現にも十世紀末から十一世紀前半にかけて活躍した、仏師康尚（定朝の師）の特色がはっきりと出ている。



▲不動明王立像（放生院、平安時代後期）



